



「地球を守るぞ」とやる気いっぱいの子供や家族ら（福祉会館で）

小・中学生が省エネ推進 エコレンジャー入隊式

家庭の省エネを推進する小・中学生「地球防衛戦隊エコレンジャー」の入隊式は、宇部市の福祉会館で開かれた。隊員79人が9月までの3カ月間、電気の無駄

遣いなどに目を光らせ、家族と一緒に地球温暖化について考える。

市地球温暖化対策ネットワーク（溝田忠人代表、略称UNCCA）が募集。隊員は1カ月単位で▽テレビを見る時間をなるべく

短くする▽冷蔵庫の温度設定を季節に合わせて調整する▽冷暖房の使用時は、家族が一緒の部屋で過ごす▽アイドリングはしないーといった30項目の達成具合をチェック。電気、ガス使用料の前年度との比較も行う。

▽笠原弘孝さん（宇部税務署長）▽西村勝則さん（同総務課長） 転任あいらし。

来社

式には家族とともに26人が出席。130年間で地球の平均気温が0.85度上昇したこと、その原因の一つに二酸化炭素など温室効果ガスの排出量増加があることなどを学習した。田中飛羽（とわ）君（常盤小2年）は「歯磨きをする時に水を出しっぱなしにしていたので、これからは気を付ける」と、使命感に燃えていた。同ネットワークでは、100人に達するまで隊員を募集する。問い合わせは、同ネットワーク（電話050-1298-4065）へ。（岩本）

（宇部日報）